



Twitter 開設中！

@jtsue_yamanashi

2023.5.20 No.37

小海線 現地踏査に行ってきました！

5月15日（月）、山梨支部は小海線の利用状況を調べるための現地踏査を行いました。小海線はJR東日本が2022年7月に公表した利用客の少ない地方路線（赤字路線）のうちの一つです。

今回は中込駅～小諸駅間の踏査でした。沿線自体の佐久市や小諸市は高校などの学校が多く、特に朝は車内が満員になるほどの混雑でした。小海線は中込～小諸間は2両での運転が基本ですが、朝の通勤、通学時間帯は3両で運転しており、それでも満員になるほどの状態でした。

朝の通勤、通学時間帯が過ぎると小海線の車内はそれほど混雑しておらず、1列車には約20名～30名程の乗車でした。

沿線の施設も訪問し、佐久市役所の訪問時に職員の方から話を伺うことができました。ありがとうございました。職員の方からは「小海線は朝夕が学生、日中帯は病院に通院する人で利用していると考えます。佐久市でも少子化が進んでいる。このままでは地元の高校の統合も考えられ、そうなるとJRの利用状況が変わってくるかもしれない。佐久市はバスの移動よりも小海線を利用する人のほうが多いと考える。市としてはデマンド交通（主に75歳以上、運転免許自主返納者向けに）を導入している。」ということをお話されていました。

山梨支部は今後も地域の方が利用しやすい鉄道づくりを目指していきます。



小諸駅（朝の混雑のため3両編成）



中込駅（列車到着後多くの学生が学校へ）



岩村田駅（周辺に学校が多く特に朝は混雑）



滑津駅（3両編成の場合1両のみドアカット）



地域の方が利用しやすい鉄道とは何か？



みんなで考えてみよう。